



第5回横浜地区キャンポリー
(5 Y C)
実施要綱



挑戦・飛躍 そして未来へ

日本ボーイスカウト横浜地区協議会

平成28年2月24日

1. 開催の主旨

大自然の中で、横浜地区スカウトと友好団スカウトが一同に会し、標準隊を編成し魅力ある野営生活、野外活動を通じて、班長及び組長のリーダーシップの向上を図る。

また、ダイナミックな活動と規律に満ちたキャンプを体験することにより、思いやりの心と自然及び全てのものへの愛情とスカウトとしての自覚を養い未来への飛躍と地区発展を目指す。

2. 名 称

第5回横浜地区キャンポリー

3. テーマ

「挑戦・飛躍 そして未来へ」



4. 期 間

平成28年8月4日（木）～8月8日（月）

ビーバースカウト	8月7日（日）	1日
カブスカウト	8月4日（木）～8月8日（月）	4泊5日
ボーイスカウト	8月4日（木）～8月8日（月）	4泊5日
ベンチャースカウト	8月4日（木）～8月8日（月）	4泊5日
運営スタッフ	8月3日（水）～8月8日（火）	5泊6日

5. 主 催

日本ボーイスカウト神奈川連盟横浜地区協議会

6. 会 場

横浜市青少年自然の家 赤城林間学園
〒379-1203 群馬県利根郡昭和村糸井7 1 3 5 番地

7. 参加資格

国内外ボーイスカウト及び参加希望の青少年と保護者

1. 一般原則

- (1) スカウト関係者は、本キャンポリー参加者として団委員長が認めた者。
- (2) その他参加者、キャンポリー運営に必要と認めた者、及びキャンポリーに参加希望者及び招待者。

2. スカウト及び関係者

- (1) B S以上は指導者を含め野営とする
- (2) C Sは舎営とするが、事前訓練をふまえた上で野営を体験することが出来る
- (3) B V Sは団委員長承認のもと、指導者と保護者同行でビーバーデーの一日及び1泊2日の舎営に参加できる
- (4) 育成会、保護者の参加も勧奨する。

3. 一般参加者等

- (1) 原則として舎営とするが、野営希望者については、別途協議する。

8. 参加形態

1. 基本標準隊編成

(1) カブ隊

宿泊	指導者数				スカウト数			合計人数
	隊長	副長	DL	合計	組	人数/組	合計	
舎営	1	3 (1)	4	8	4	6	24	32

() 内女性リーダー

- ・原則として隊毎の編成するが、隊を分割する場合がある。但し、組の分割は無いものとする。
- ・合計人数は基準人数として、指導者及びスカウト人数によって変動する。
- ・編成隊のコミュニケーションを向上する様、事前訓練を行う。

(2) ボーイ隊

宿泊	指導者数				スカウト数			合計人数
	隊長	副長	上班	合計	班	人数/班	合計	
野営	1	3 (1)	1	5	4	8	32	37

() 内女性リーダー

- ・原則として隊毎の編成するが、隊を分割する場合がある。但し、班の分割は無いものとする。
- ・合計人数は基準人数として、指導者及びスカウト人数によって変動する。
- ・編成隊のコミュニケーションを向上する様、事前訓練を行う。

(3) ベンチャー隊

宿泊	指導者数				スカウト数			合計人数
	隊長	副長	上班	合計	班	人数/班	合計	
野営	1	6 (3)	0	10	6	3~6	30	40

() 内女性リーダー

- ・参加全ベンチャースカウトの中で、個人のニーズに近いスカウト同士で3~6名程度のグループを編成し、企画・計画を独自に行い参加する
- ・ベンチャーの生活エリアを用意し、そこで野営を行う。生活エリアを共有するグループとして隊を編成する。
- ・合計人数は基準人数として、指導者及びスカウト人数によって変動する。
- ・編成隊のコミュニケーションを向上する様、事前訓練を行う。
- ・カラーチームは参加ベンチャースカウトの中から希望者で編成し、全体行事で演技を行う。

2. 一般参加について

- (1) ボーイスカウト加盟員以外の青少年および保護者の参加を一般参加とする
- (2) 一般参加希望者は保護者責任の元、一般参加者として扱い、宿泊場所（赤城林間学園内宿泊場所）とプログラムの提供を行う。但し、プログラムに参加できる参加者は小学校3年生以上とする。

3. ビーバースカウトの参加

- (1) B V Sの参加は自由参加として、団または個人でB V S用申込用紙にて申込みする。
- (2) 団委員長、保護者の責任の元で、舎営のみ参加を承認する。
- (3) ビーバーD a yを設ける。

4. 奉仕スタッフ(運営委員会)

- (1) 横浜地区内隊指導者、団指導者、育成会員、ローバースカウト、ベンチャースカウトの奉仕希望者及び一般奉仕者
- (2) 組織：運営委員会組織図により構成される
- (3) 奉仕期間：平成27年11月より5YC終了までの期間
- (4) 実施期間中の宿泊は舎営または野営の希望とする
- (5) 食事は赤城林間学園内の食堂にて支給する。

5. 他地区及び海外スカウト

- (1) 標準隊編成に準じ合同編成とする。

9. 予定参加人員

ビーバースカウト	小学校1年生～小学校2年生	50名
カブスカウト	小学校3年生～小学校5年生	150名
ボーイスカウト	小学校6年生～中学校3年生	150名
ベンチャースカウト	高校1年生～高校3年生	30名
ローバースカウト	19歳以上～25歳	10名
指導者及び保護者(家族含む)		140名
他地区スカウトと指導者		40名
一般青少年とその家族		20名
海外スカウトと指導者		10名
合計		600名

10. 参加費

1. 参加費は20,000円/1名(場外プログラム費用は除く)

内訳

- | | |
|----------------|------------------|
| ①開催準備費、宿泊費 | ⑥式典費、記念誌出版費 |
| ②キャンポリー期間中の給食費 | ⑦事務費、印刷費、資料費等の一部 |
| ③参加章、アワード章 | ⑧期間中の救護衛生費の一部 |
| ④運営費、会場設営費 | ⑨その他 |
| ⑤部門別運営費、移動交通費 | |

2. 県外からの参加者の参加費は別に定める。

11. 参加申し込みと参加費納入

1. 参加申し込み

- (1) 参加各隊は、確定申し込み書に必要事項を記入し各団の隊ごとに取りまとめメールまたは郵送にて4月17日までに大会事務局に提出する。
- (2) 参加費用は、各団ごとに取りまとめて平成28年5月31日までに大会事務局に納付する。
- (3) 大会事務局は、確定申込手続き終了の後、参加申込団(隊)に、参加承認書・その他必要な物品及び書類を送付する。
- (4) 納入した参加費は、他の者に振り替えることはできるが、払い戻しはしない。

12. 組織と運営

- ・本キャンポリーを運営するために、運営本部を編成し、大会長・運営本部長により統轄される。
- ・運営本部長は本キャンポリー運営の責任者となり、各業務部を編成し、各専門分掌事項の企画・運営にあたる。

組織図6頁参照、組織表7頁参照

13. 基本日程及び日課

(1) 基本日程

部門	8月4日		8月5日		8月6日		8月7日		8月8日	
	木		金		土		日		月	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
BVS							ビーバーデイ			
CS		入場	プログラム		プログラム		プログラム		撤収	退場
BS	入場	設営	プログラム		プログラム		プログラム		撤収	退場
VS	入場	設営	自主企画プログラム		自主企画プログラム		自主企画プログラム		撤収	退場
全体		開会式				大営火	宗教儀礼	閉会式		

※運営スタッフは入場日 8月3日午前、退場日が8月8日午後とする。

(2) 中途入場と中途退場

参加費については下記に定める

2泊以下 10,000円/人

3泊 15,000円/人

交通費は各自負担とする。

(3) 基本日課

起床	6:00
朝食	7:00~8:00
国旗掲揚	8:30
午前のプログラム	
昼食	12:00~13:00
午後のプログラム	
国旗降納	17:30
夕食	18:00~19:00
夜のプログラム	
就寝	22:00

14. プログラム

本キャンポリーの諸活動は、部門別プログラム・スキルマーケット等のプログラムによって構成される。

カブスカウト（BVS含む）とボーイスカウトの場内及び場外のプログラムガイドを作成し参加者に配布する。

15. 参加章

参加者全員に参加章を支給

16. 大会本部が準備する諸施設

野営場 赤城林間学園内のキャンプ場

宿泊場所 赤城林間学園内の舎営施設 紹介施設 「昭和の森」

17. 交通及び輸送

参加者 全期間の参加者は大型バスにて輸送。（中途参加者県外参加者については自己手配）

資材・備品 隊装備及び運営本部の資材、備品は運営本部手配のトラックでの輸送を行う。

18. 保健衛生及び救護

- (1) 赤城林間学園内に臨時救護所設置
- (2) キャンプ場内に仮設トイレ、水道設備設置
- (3) 近隣病院
 - ①独立行政法人国立病院機構 沼田病院
 - ②利根中央病院
 - ③沼田脳神経外科病院
 - ④森下診療所

19. 食料などの配給

- 舎 営 全ての食事を赤城林間学園にて食堂にて支給する 必要燃料
野 営 食材の配給を行い野外炊事とする。必要燃料（薪）は本部より支給される。

部門	食事	場所	8月3日	8月4日	8月5日	8月6日	8月7日	8月8日
C S	給食	食堂	—	夕	朝昼夕	朝昼夕	朝昼夕	朝昼
B S	食材配給	野営地	—	夕	朝昼夕	朝昼夕	朝昼夕	朝昼
V S	食材配給	野営地	—	夕	朝昼夕	朝昼夕	朝昼夕	朝昼
運営	給食	食堂	夕	朝昼夕	朝昼夕	朝昼夕	朝昼夕	朝昼

20. 参加章・服装・携行品

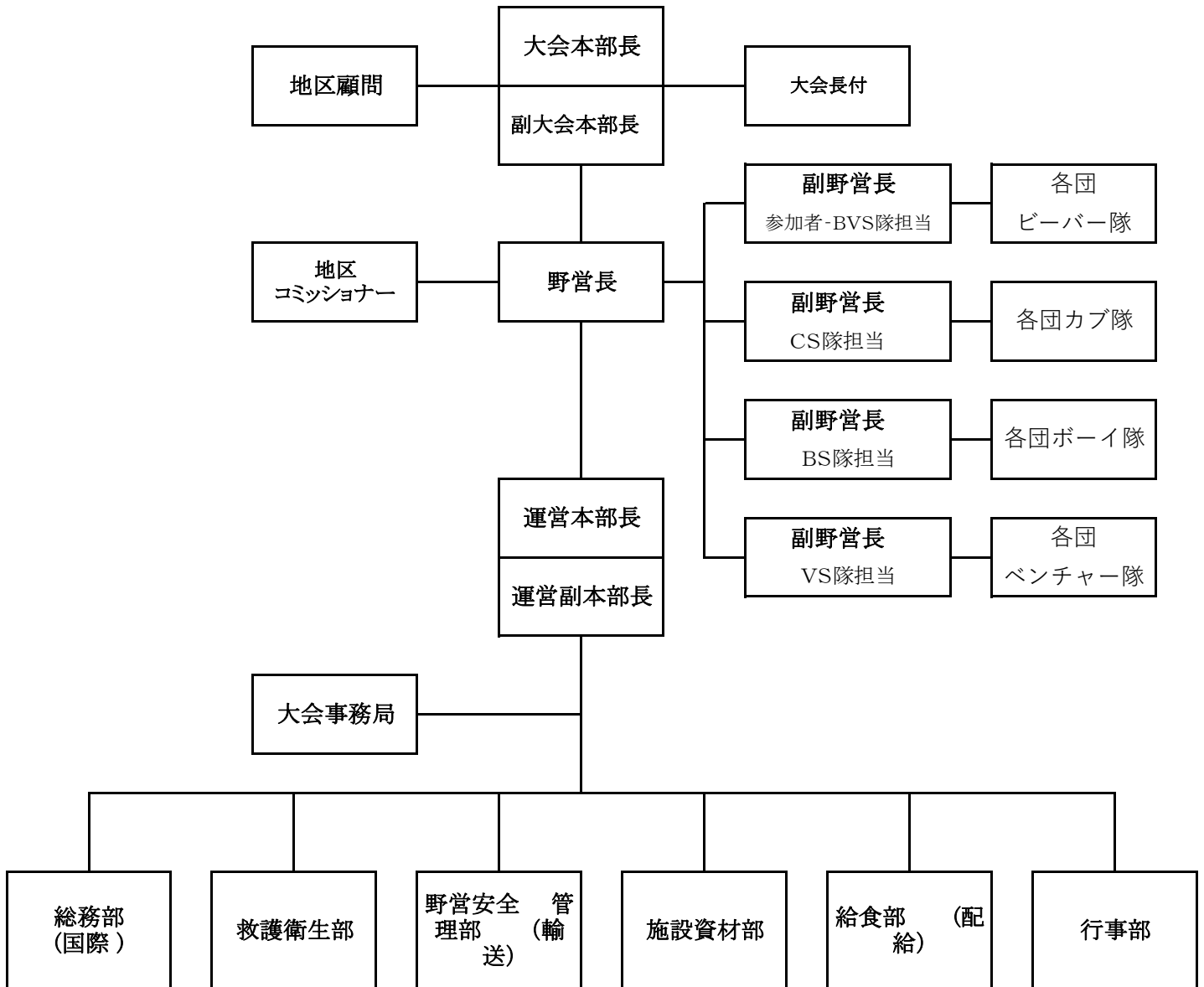
1. 参加章

- (1) 本大会の正式参加者は必ず大会参加章を、制服上着の右ポケット中央部に縫い付け参加する。

2. 服装

- (1) キャンポリー会場は、5Y C ネッカチーフを着用で参加する。
- (2) 旧制服及び新制服は参加者の自由とするが記章類の着用は、日本連盟規定集に準ずる。
- (3) 制帽は各派遣隊で統一したものを着用することができる。

第5回横浜地区キャンポリー(5YC)組織図



第5回横浜地区キャンポリー運営委員会名簿

大会本部

No	担当部門	氏名	団号	地区役務	団役務	担当部門
1	大会長	磯辺 磨梨子	125	協議会長	団委員長	
2	副大会長	安部 俱也	103	副協議会長	団委員長	
3	大会長付	井坂 聡	20	副協議会長	団委員長	
4	大会長付	横須賀 哲雄	77	副協議会長	団委員長	
5	顧問	武井重利	3	顧問	団委員	
6	顧問	佐藤雅一郎	8	顧問	団委員	
7	顧問	市原政喜	20	顧問	育成会長	
8	相談役	寺口伸夫	8	相談役	団委員長	
9	相談役	池田澄男	79	相談役	団委員	
10	相談役	岩波信夫	92	相談役	VS隊長	
11	相談役	作田豊彦	95	相談役	団委員	
12	相談役	田中隆久	130	相談役	団委員	
13	相談役	坂理 喬	83	相談役	団委員	

野営部

No	担当部門	氏名	団号	地区役務	団役務	担当部門
1	野営長	小山 貴司	82	地区委員長	団委員長	野営区全般
2	コミッショナー	近藤 明彦	103	コミッショナー	VS隊長	コミッショナー
3	副野営長	佐久間 直人	79	副コミッショナー	副団委員長	BS隊
4	副野営長	木山 裕史	79	副コミッショナー	副団委員長	CS隊
5	副野営長	野々目慎一	79	副コミッショナー	VS隊長	VS隊
6	副野営長	中鶴 英昭	79	副コミッショナー	団委員長	BVS・一般

運営本部

No	担当部門	氏名	団号	地区役務	団役務	担当部門
1	運営本部長	萩野 正	3	副コミッショナー	VS隊長	運営全般
2	運営副本部長	石川 剛司	83	地区副委員長	団委員長	行事、給食部
3	運営副本部長	加藤 一彦	3	地区副委員長	団委員長	総務、安全部
4	運営副本部長	吉田 昌司	95	地区副委員長	団委員長	野管、資材部
5	事務長	中島 一郎	8	事務長	副団委員長	事務局
6	副事務長	古賀靖章	8	地区会計	VS隊長	事務局
7	総務部長	加藤一彦	3	総務委員長	団委員長	総務、安全部
8	総務副部長	原科陽子	130	国際委員長	団委員	国際
9	救護衛生部長	吉泉弘雄	17	安全委員長	BS隊長	救護衛生
10	野営安全管理部長	海野和俊	89	野営行事委員長	RS隊長	野営・安全
11	施設資材部長	佐藤莊一	77	野営行事副委員長	団委員	資材
12	給食部長	大塚典子	133	進歩委員長	BS副長	給食
13	行事部長	吉田信幸	89	指導者養成委員長	団委員長	行事